

## 令和初の冬の学習会が滋賀でありました

今年度の冬の学習会はフェリエ南草津にて開催されました。冬の滋賀に総勢78名が集い研修を深めました。冬の学習会で入会された方を含め、今年度の会員数は合計281名となりました。

前半は金沢佑治先生より、伝音難聴とその治療について・医療と聾学校との連携について、具体的な手術の動画なども含め、とてもわかりやすくご講演をいただきました。

また後半の高井小織先生からは、明日からの実践につながり元気になるお話を聞かせていただきました。

### 講演

『最新の難聴児医療・教育との連携』

金沢 佑治 先生

(滋賀県立小児保健医療センター

耳鼻いんこう科 副医長)



### 参加者アンケートより

○医療の立場から支援をつなぐお話がきけたことが良かったです。診断を受けた後、本人、保護者等はこれからどうしたら？というところで不安・ショックが大きいと思います。医療機関での発見からはじまっても、その次に教育・福祉等への支援のつながりがしっかりしていると、不安の軽減に繋がります。特にはじめのつながりは大事だと思いました。

○あまり接したことのない伝音難聴の事例について手術の映像など交えて知ることができ、とても興味深かったです。外耳道閉鎖は、外耳道形成術以外に人工中耳や埋め込み式の機器と選択肢がいろいろあり、それぞれ特性・メリット・デメリットもあるので当事者にとっては悩ましいことだろうと思った。

○手術や補装具の進歩、選択の幅の広がりについて、知らなかった内容もあり、勉強になりました。教育現場だけではなかなかわからない、でも、知っておくべき内容だ

と思います。子ども達に対してだけでなく、保護者支援にも役立てていきたいと思いました。

○講演の冒頭で金沢先生が「言っていることが分からないから面白くない」と子どもさんが通っていた英語教室をやめた理由を話された時、確かにそうだと思います。これは聴覚障害の生徒にもいえることで理解しやすい言葉で話そうと思いました。○中耳炎、鼓膜チューブ、外耳道閉鎖のこと本当にわかりやすかったです。滋賀聾話学校の学部の先生方もSTさんと連絡会をもたれていることは深い連携になっていると思いました。

○医療の視点からの話は、とても新鮮だった。医療と教育、少し溝を感じることもあったけれど、子どものよりよい育ちに寄りそっていく姿勢を再確認した。



## 講演

『聴覚障害のある児童生徒の言語運用  
～培われたものから自ら発信し  
繋ぐものへの変容～』

高井 小織 先生

(京都光華女子大学健康科学部  
医療福祉学科 准教授)

○難聴学級での指導例・実践例、子どもたちへのアイデンティティへの向き合わせ方(というのかな?)など、盛りだくさんの内容でとても興味深かったです。特に古文の暗唱は、何度か同じ内容のお話を高井先生からお話いただいておりますが、いつも「自分もこの方法で学びたかった」とうらやましく思います。

○言語運用の一つとして、対話することを大切にされていることが分かりました。書くことが苦手な生徒には、PCを使って対話しながら作文を書かせたとおっしゃっていましたが、本当にそのようにして話すことで思いを素直に聞き出せるのだと感じました。障害の理解は、人それぞれの感じ方もあり、一言でこうあるべきということは難しいですが、先生がおっしゃっていたように自己開示と説明の2ステップから考えられることがよく分かりました。信頼関係の中で長時間かけてゆっくり話していくことが大切だと感じました。

○今、担任をしている子が、中学・高校に

行った時にどうなるかな…と思いながら聞かせてもらいました。と共に、今何ができるのかな…と。

○教師としての視点やすべきことを教えていただいた気分です。何が大切か、そのためにどうしていくべきか改めて考えながら実践に活かしていきたいです。

○子どもからのアウトプットを引き出すことは、こちらが実態を理解することにもなり、子ども自身の力の定着にもなることなので、そういう機会を多く設定した指導をしていきたいと思った。

○楽しそうな具体的な実践がたくさん聞けて大変参考になりました。生徒さんたちは、きっと中学時代に心を拓くことができたんですね。それが今につながっているように思います。

○言語力の大切さを改めて感じました。書き言葉にして子どもたちにフィードバックすることは意味あることだと思いました。自分のことを表現できる、相手のことを理解できる言語力をつけられるようにしたいと思いました。

紹介しました感想の他にも、数多くのご感想や改善点についてのご意見を頂きました。次年度以降の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

令和2年 8月18日(火) 第22回夏の講演会(大阪府教育会館たかつガーデン)

19日(水) 第22回夏の講習会(大阪府立中央聴覚支援学校)

10月31日(土) 秋の講演会(大阪府社会福祉会館)

令和3年 1月30日(土) 冬の学習会(奈良)

来年度の予定

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

〒640-8272

和歌山県和歌山市砂山南3丁目1番73号

和歌山県立和歌山ろう学校内

事務局長 内門 祐

TEL: 073-424-3276

FAX: 073-424-0310

メール: [uchikado-y002@wakayama-c.ed.jp](mailto:uchikado-y002@wakayama-c.ed.jp)